

平成 30 年度 東日本建築教育研究会 総会（長野大会）

施工分科会 研究協議のご案内

開催日：平成 30 年 8 月 2 日（木）

会 場：ホテルメトロポリタン長野（長野県長野市南石堂町 1346）

テーマ：環境の積極性 ～技能の可視化による実習指導～

講 師：小松 研治 氏（富山大学 名誉教授）

長野大会における施工分科会の研究協議 I は富山大学名誉教授の 小松研治 氏を講師に招き、「環境の積極性 ～技能の可視化による実習指導～」とうタイトルで技能をわかりやすく見える形で生徒に提示し、その可視化物を日常の環境の中に配置することによって教育効果を高める「環境の積極性」という考え方の事例について、講演いただきます。

小松先生は家具製作や彫刻など木材造形を専門としており、長年にわたり技能指導に係る研究に携わっており、鉋の調整に係る動画などもインターネットで紹介されています。

普段、木材加工などの技能を指導されている先生方、技能系実習に興味のある先生方など、多くの先生方はぜひ、ご参加下さい。

【講師紹介】

小松 研治（こまつ けんじ）

〈経歴〉 1955 年 長野県駒ヶ根市生まれ

1983 年 東京藝術大学大学院美術研究科終了

1986 年 高岡短期大学 産業工芸学科 着任

2003 年 高岡短期大学 産業工芸学科 教授

2005 年 富山大学 芸術文化学部 教授

2017 年 富山大学 芸術文化学部退官 名誉教授

〈著書〉 患者の楽園 小松研治作品集（能登印刷出版部 2013 年 11 月）

素描の旅 小松研治図画集 （能登印刷出版部 2017 年 9 月）

〈研究〉 伝統工芸技能指導者育成モデルの研究－外在主義的知識観による学びの日常化－

外在主義的知識観によるモノづくり伝統技能の抽出と継承環境の構築

特殊技能工芸職人の連携による循環型発想支援システムの調査研究 他